

2013/08/02

スクールボランティアサミット2013

2012年度 埼玉県立岩槻高校 「社会参加学習」

東京大学大学院教育学研究科博士課程（埼玉県立岩槻高校 前教諭）

細野 隆彦

筑波大学大学院博士後期課程

古田 雄一

概要

高校1年生の「世界史」の時間で、6月～9月にかけて、まちや社会の課題について学び、その解決策を考えて実行する「社会参加学習」のプログラムを実施した。

本年度の授業実践では、岩槻のまちの課題をテーマとし、少人数の班に分かれてまちが抱えている課題について調べ、その改善や解決のために自分たちにできるアクションを考え、実際に計画して実行に移した。また、大学生が高校生の話し合いやプロジェクトの計画・実行のサポートを行った。

プログラムのねらいと流れ

社会参加学習のねらい

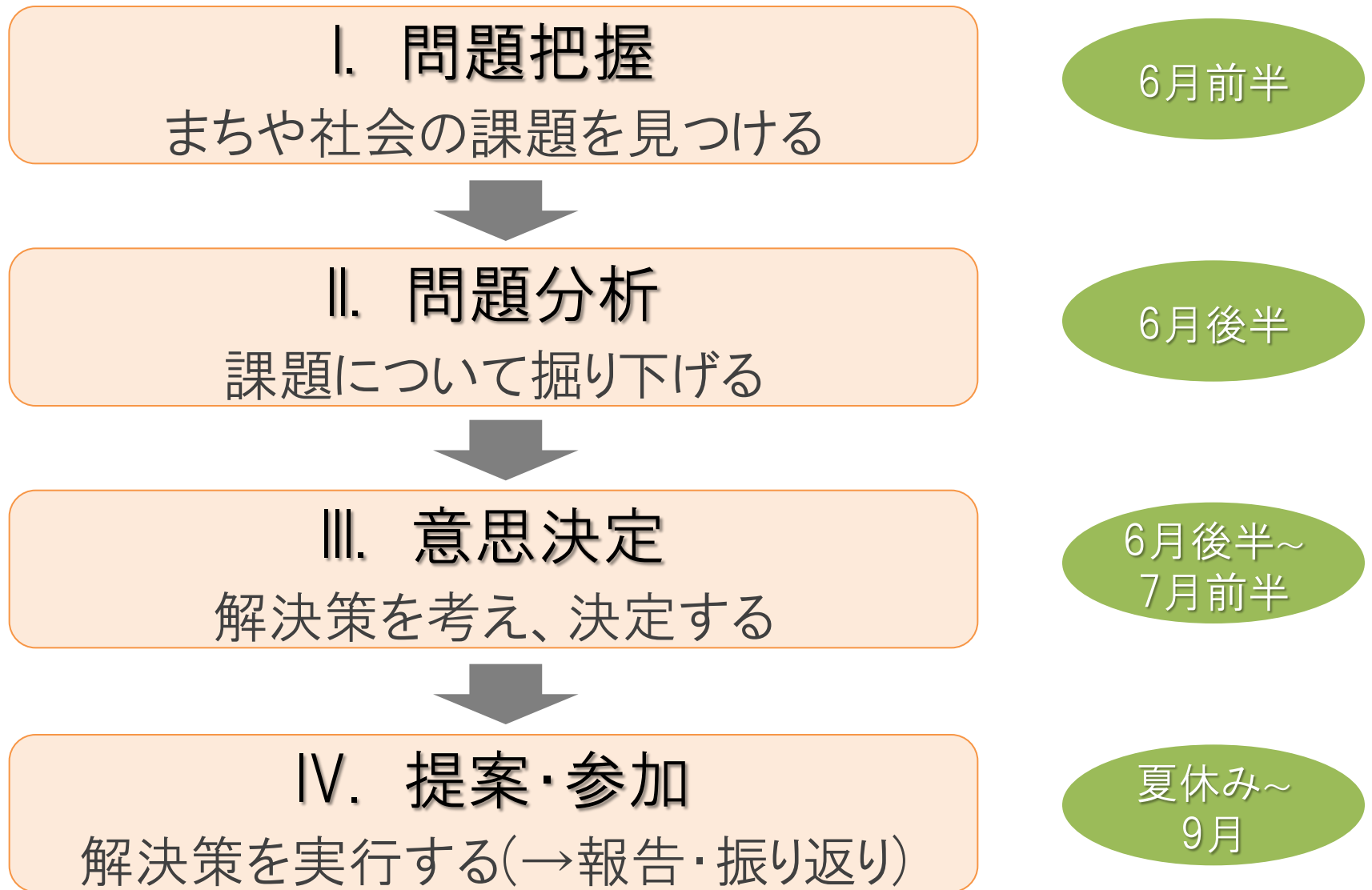
【A. 意識(関心・意欲・態度)】

- (1) 「問題意識」: 社会的な課題に対して問題意識を高める。
- (2) 「生き方」: これからの自分の生き方を考え、社会参画について意識するようになる。

【B. 知識・スキル(知識・理解・技能／思考・判断・表現)】

- (1) 「問題把握」: 地域でどのような課題が起こっているのか把握することができる。
- (2) 「問題分析」: 地域で起こっている課題について、多角的に、また深く分析することができる。
- (3) 「意思決定」: 分析をもとにプロジェクト活動の案を考え、適切な活動を決定することができる。
- (4) 「提案・参加」: 考えたプロジェクト活動を準備・計画し、実行することができる。

大まかな流れ (cf. サービス・ラーニングの4段階)



テーマ／小テーマ（班分け）

テーマ：「岩槻のまちの課題」

⇒ 6つの小テーマによる班分け

観光・広報

高齢化

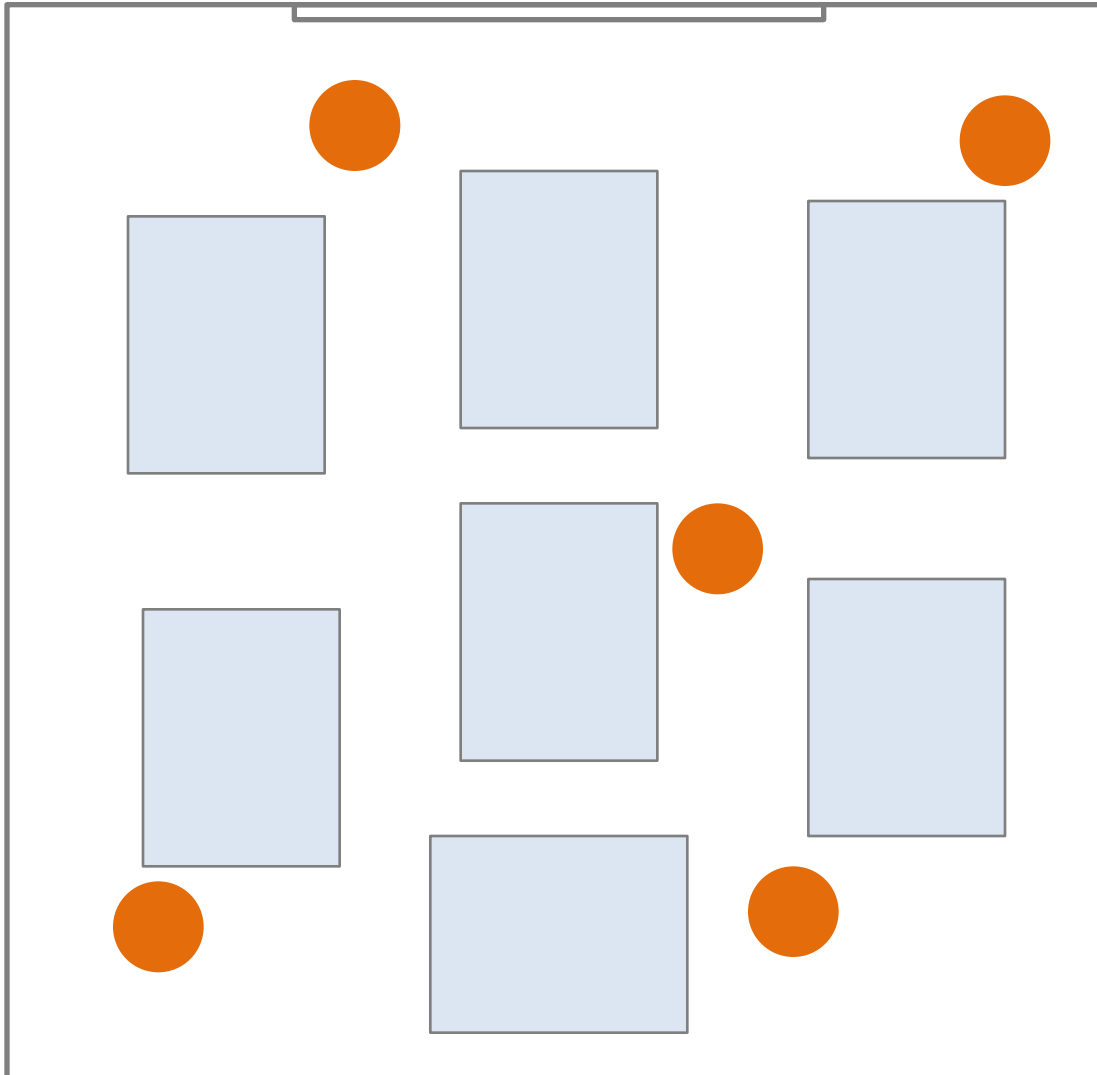
環境

施設

交通・
通学環境

商店街

実施体制



- ・生徒たちは小テーマに応じて6～7の班に予め分かれる
- ・大学生が各曜日につき5人程度ずつ参加し、班活動のサポートを行う
(1組は除く)
- ・教員は、全体指示やその他全体統括などを担当する

授業内容の構成①（6月）

授業回	内容
第1回 (一部のクラスはなし)	<ul style="list-style-type: none">・導入(岩槻クイズ)・まちの課題を考える
第2回	<ul style="list-style-type: none">・資料を使いながらまちの課題を考える・フィールドワークの計画を立てる
フィールドワーク	<ul style="list-style-type: none">・ゲストの話を伺う・まちを歩いて課題を見つける
第3回	<ul style="list-style-type: none">・これまで見つけてきた課題の整理・班で取り組む課題の決定
第4回	<ul style="list-style-type: none">・考えられる解決策を考える・プロジェクト活動案の決定

授業内容の構成②（7～9月）

授業回	内容
第5回	・プロジェクト活動の計画・準備
夏休み	・プロジェクト活動の準備・実行 (※集中作業日を設定して、適宜サポート)
第6回	・クラス内でプロジェクトの成果を発表
第7回 (一部のクラスは 第6回と統合)	・班でこれまでの学びを振り返る ・個々人でこれまでの学びを振り返る

3-施設

フィールド

夏休み

テーマにフイマ

フィールドワークの
何が? 何
用いた意味は?

本音がわかる
も、よく聞き
思えた

アートの話
いいね
はかばか

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

図書館を
アートの話
アートの話

自分たちが
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

図書館
アートの話
アートの話

話(を)聞いて
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

図書館の利用者が
アートの話
アートの話

またやりたい!

アートの話
アートの話
アートの話

岩槻は高校生が
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

図書館が
アートの話
アートの話

大変だ
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

みなさん
アートの話
アートの話

話(う)ことは
大変でした

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

岩槻は
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

アートの話
アートの話
アートの話

グループ活動について

プロジェクト活動の例

《観光・広報》

- ・岩槻の名物に関する手作りのチラシを作り、配布
- ・岩槻の料亭をPRするため、料亭に出向いてインタビューを行い、聞いたことを冊子にまとめる
- ・岩槻区のキャラクターを改善するため、新キャラクターを考案
- ・時の鐘を若い世代にPRするために、時の鐘の前で踊りをして、その様子を動画に撮って配信

《高齢化》

- ・高齢者の中には歩行者用の青信号が足りない人もいると考え、道を渡り切れる高齢者の割合や、高齢者が道を渡るのに要する時間などを調べて、その結果をもとに区役所に意見を提出
- ・見守り活動について、区役所にインタビューを実施

プロジェクト活動の例

《環境》

- ・川や道路のゴミ拾い活動
- ・ゴミを減らすため、ゴミ箱の設置を区役所に提案

《施設》

- ・地域の図書館が若い人にあまり利用されていないという課題に取り組むため、岩槻高校の生徒100人に、図書館に関するアンケートをとって、図書館に提出
- ・児童センターに出向いてインタビューを実施し、今困っていることや、高校生に協力してほしいことなどをうかがう
- ・旧区役所の取り壊しの署名を集める（※実行できず）

プロジェクト活動の例

《交通・通学環境》

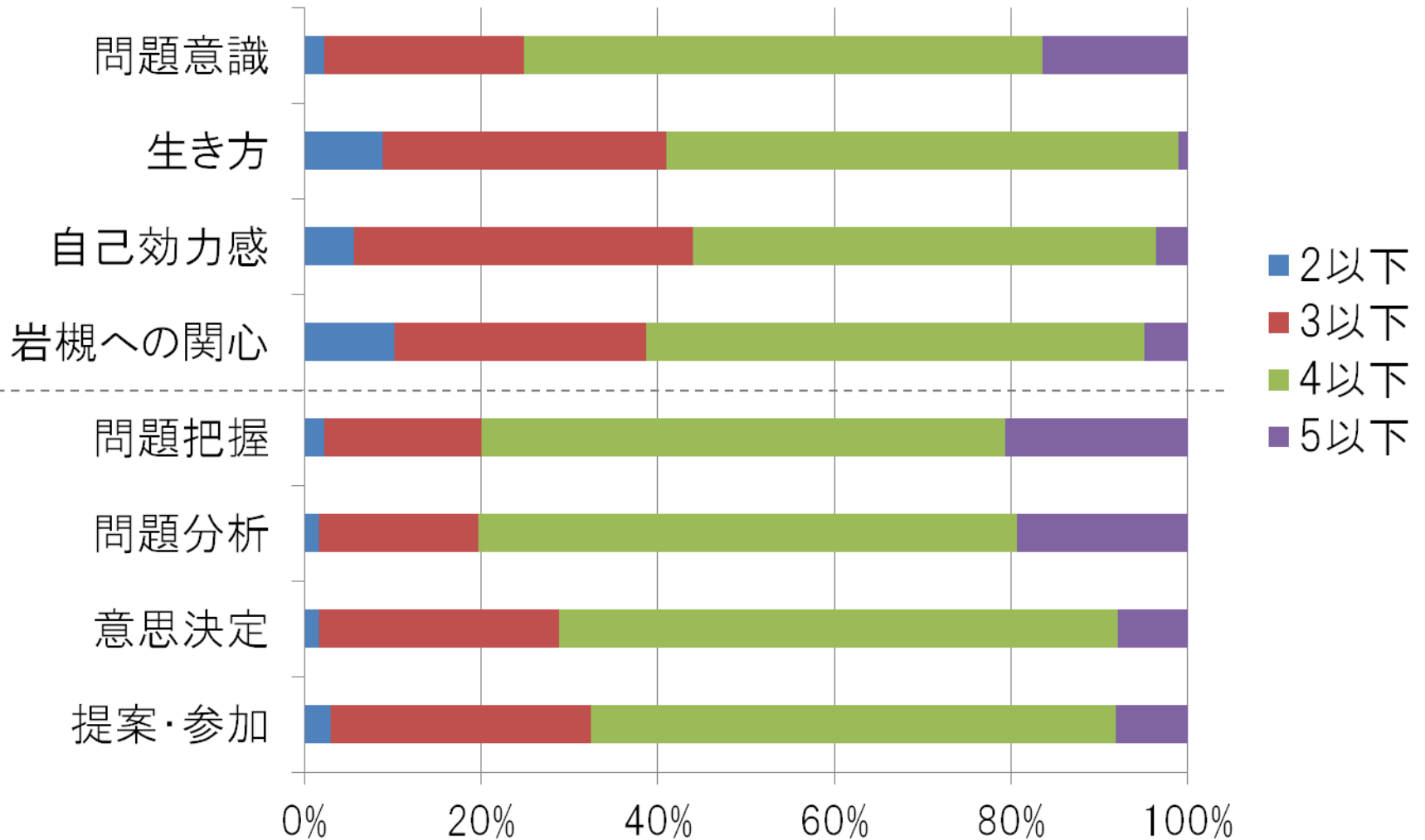
- ・コミュニティバスの本数が少なく、利用者が少ないのではないかと考え、街頭でアンケートを実施し、その結果を市役所の担当者の方に電話で伝える
- ・放置自転車の問題を知らせるチラシを作成して駐輪場で配ったり、鍵がかかっている自転車の割合を調べたりする
- ・自転車専用道路があまり利用されていないのではないかと考え、歩道と専用道路のそれぞれの利用率を調査

《商店街》

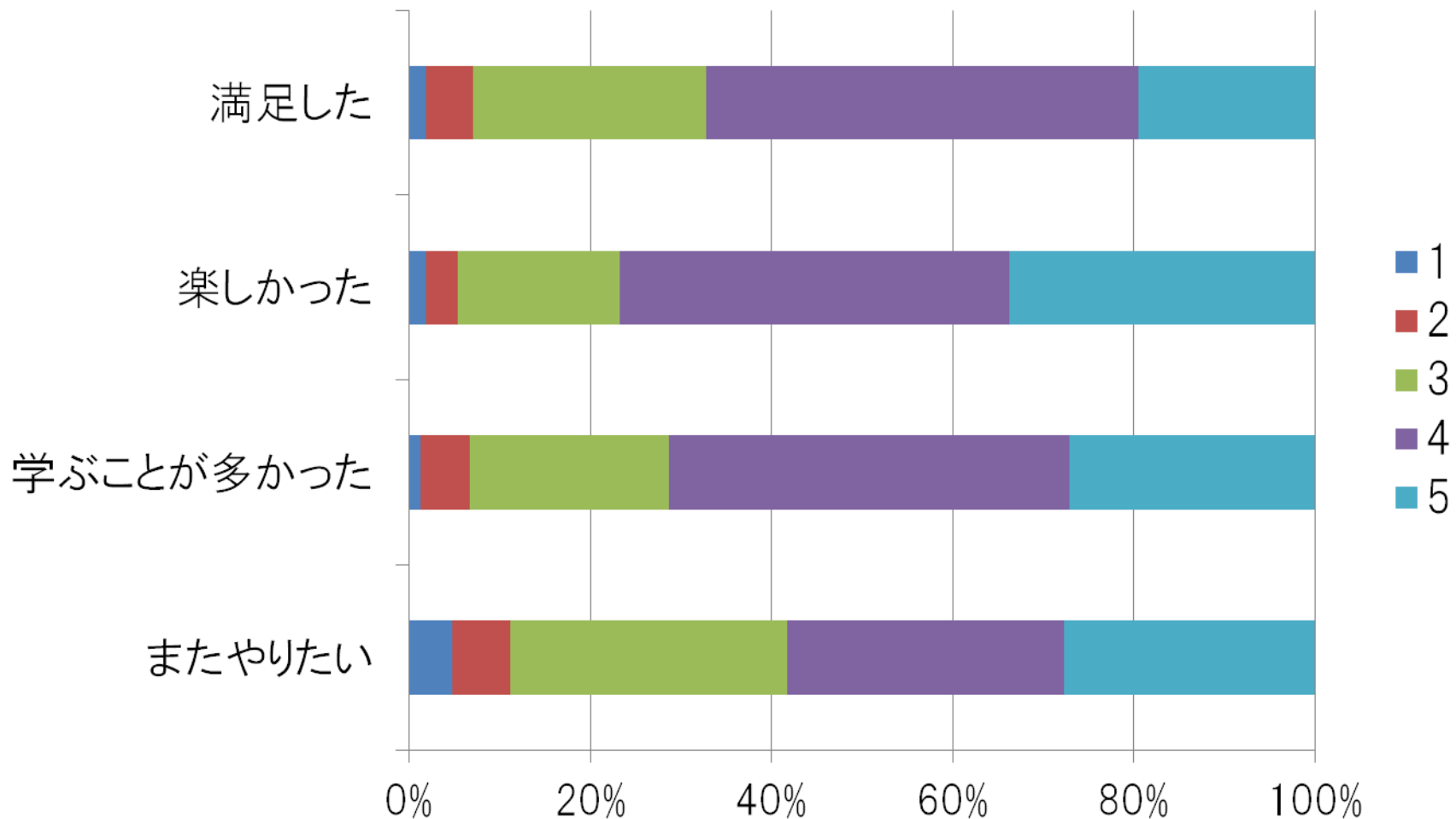
- ・商店街に人を呼び込むためのポスターを作成
- ・人形職人にインタビューを行い、仕事への思いや今後の課題、若い人へのメッセージなどを伺う
- ・シャッターが閉まっている店の色塗りを提案

生徒の変化

生徒へのアンケートの結果①



生徒へのアンケートの結果②



生徒の変化①：「意識」面

(1) 自己効力感

- ・何度も書くけど、高校生としてはすごいことしたと思う。
- ・自分からうごけば変わることがある。とおもった。
- ・初めは活性化なんてできないって思ってたけど、こうどうに移すうちに、ちゃんと理解してくれる人がでてきて、すごい良い経験になりました。

生徒の変化①：「意識」面

(2) 問題意識・問題解決への意欲

- ・これから何をするにも、人まかせにはせずに、今、自分に何ができるのか、何をしなくちゃいけないのかを考えて、考えるだけでなく、そこから行動にうつせるように努力をしていきたいと思います。
- ・岩槻をかせいかさせるためには、若者が中心になって行動しなければ、いけないから、これから私たちが中心となってがんばりたいと思う。

生徒の変化①:「意識」面

(2) 問題意識・問題解決への意欲

- ・他の町をもう少し見習っていかないと、ただのシャッター街()になるだけ。過疎ってなにもない街は無駄な存在な気がする。駅も、階だんだけで、年寄りの気持ちも考えないような町が活性化できると思ってる時点でおかしい。まず、玄かんとも言える駅を早急にリニューアルしないとダメだ。そこから、観光のことを考えるべき。(後略)

生徒の変化①：「意識」面

(3) 自身の生活・生き方への影響

- ・ 自分の住んでいるところでも、ボランティアや地域の取り組みに積極的に、どんどん参加したいなあと 思いました。また、自分の住んでいるところも商店街が暗い、人気がない感じがあるので、活気あふれる、人がいっぱい来るような市にしたいです！
“積極的に”参加できた気持ちを忘れない！
成長できてよかったです！
- ・ 岩槻だけじゃなく、自分の地元でもこういう活動ができたらなあ、って思いました。

生徒の変化①：「意識」面

(4) 地域・地元への関心

- ・岩槻というまちはまだまだちゃんとしていないところがあるけど、まだ変わることができるんじゃないのかなと思った。
- ・今まで岩槻にすんでいたのに知らないことが多くありビックリした。岩槻の町もいろいろ調べてみると、良いことや悪いことなどたくさんみられました。これから岩槻の町を歩いたりするとき、いつも見すごしているような町並みを見てみたいなと思いました。
- ・自分の地元は“こんな良いところがあります”そう胸を張って言えるように、地元をよく知っていきたいです。

生徒の変化②：「知識・スキル」面

(1) 認識（問題把握／問題分析）

- ・今まで特に気にしたことはなかったけどこの「社会参加学習」を通じて岩槻のことについて考えることができました。岩槻にはまだまだ課題がたくさんあるということが知れました。市役所に人の話をきいて岩槻の現状を知れた。
- ・岩槻の事を、自分が、ほとんど知らないという事を知れてよかった。
- ・人と話し合って物事を決めていく大切さを知りました。いろいろな意見、自分では2つしかでなくても5人あつまれば10もの考え方があります。視野も広げられると思いました。

生徒の変化②:「知識・スキル」面

(2) 実践（意思決定／提案・参加）

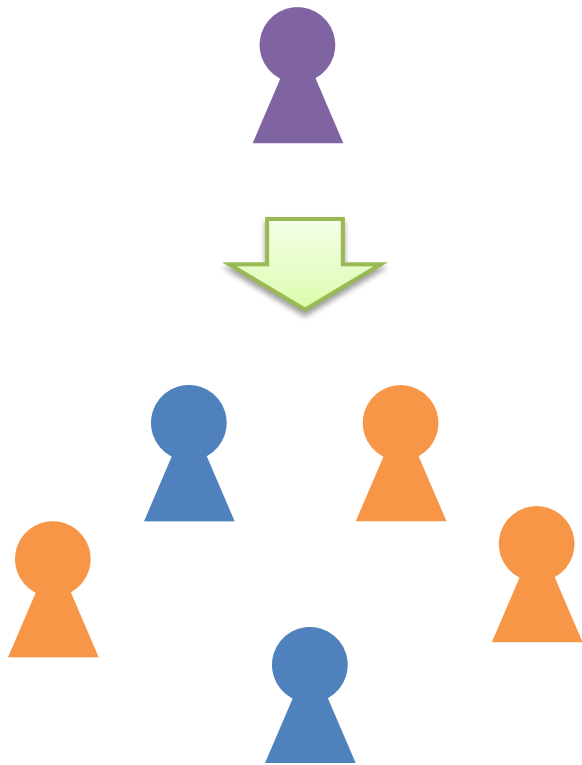
- ・ 街をどのように変えれば人がたくさん来るかなどの社会的な解決方法が考えられるようになりました。
- ・ 直接的な活動じゃなくても、人の役にたつ事は出来るって事が分かった。
- ・ 社会の何かに取り組むためにはあらゆる段取りを踏んでいかなければいけない、ということを知りました。

その他の生徒の声

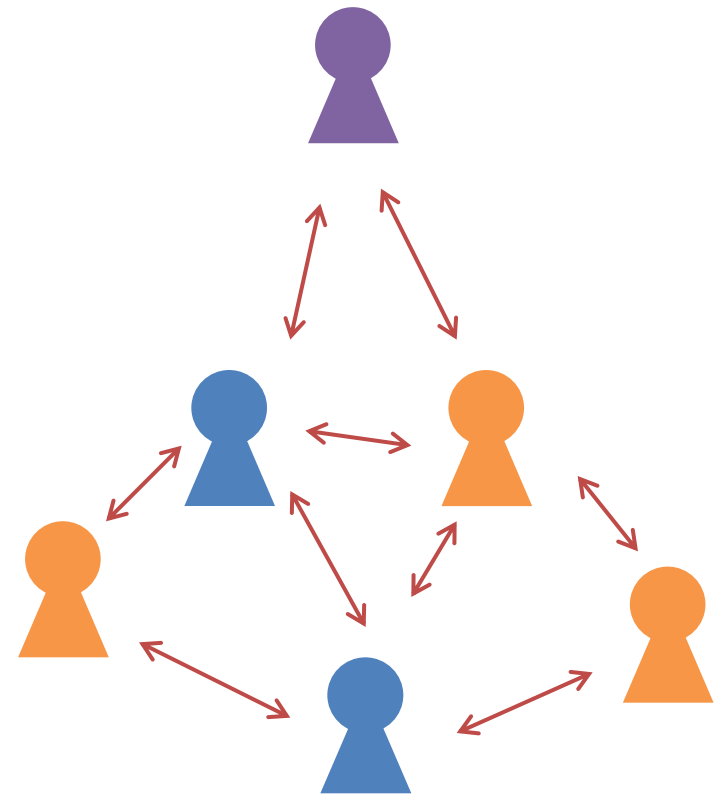
- ・ 難しそうだなと思っていたけど本当に難しかった。
岩槻から区役所まで歩くのがつらかった。だけど楽しかった。夏休みのやつも頑張ったのでよかったです。
自分たちの代のは終わったけど、次の代とか先も続けてってほしいです。
- ・ クラスのみんなが良い街づくりのためにいろんなことをして、そのことじたいがいいことだと思う。また、そういう事を忘れないで生きてゆくことはすごく大切だと思う。

この授業で大切に
していたこと

教師主導型 vs. 生徒主導(参画)型



教師があらかじめ決めた
学習活動や地域・社会貢献
活動を通して生徒が学ぶ



生徒たちが(教師と一緒に)
課題を見つけ、学び、
解決策を考えて実行する

この授業で大事にしていたこと

① 生徒が一から考える

生徒が自分たちで課題を見つけ、解決策を考える
— 「下請け」「操り・お飾りの参加」を乗り越える

② 実際に実行する

自分たちも解決に携わるという意識、できるという効力感
— 「お任せ」「評論家」を乗り越える

③ 「伴走者」の存在

思いを受け止め、ともに形にしていく大学生サポーター
— 成功体験／フォローアップによる効力感

目指したい社会像と市民参加のありかた

「お上」に全て
「お任せ」する

政治・行政



市民

市民の
「下請け化」

政治・行政



市民

市民もともに議論し、
考えて提案・行動

政治・行政



市民



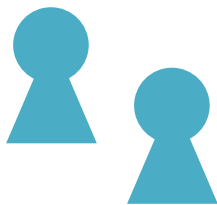
より良い社会の実現に向けた、議論や課題解決に
参画していく市民性を育む教育実践へ

最後に — 学校と地域との新たな関係性へ

教師



地域

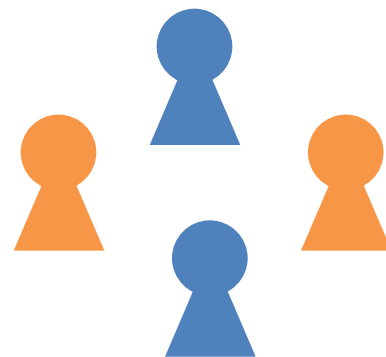
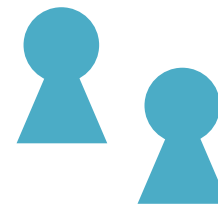


生徒

教師



地域



生徒



サポーター